

本時のねらい

- 資料から読み取れる情報を分類して考察し、自分の考えを表現できる。
- 理由や根拠を明確にしなが、**「伝えたいこと」**を表現することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ロイロノートのシンキングツール（Xチャート・クラゲチャート）を使って考えることで、自分の考えが整理でき、明確になることをねらいとした。
- 考えを記入したカードを提出箱に提出し、共有することで、他の児童の考えと自分の考えを比較しながら交流でき、より自分の考えを深めるための手だてとすることをねらいとした。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- 授業支援ソフト（ロイロノート）
- 大型モニター

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | ICT活用のポイント・工夫 |
|--------------|---|--|
| 導入 (5分) | <ul style="list-style-type: none"> ○本時の課題を確認する。 「よりよい学校生活に向けて考える」 ○すすくウオッチのわくわく問題を活用して、問題解決の見通しを立てる。 ・大問3の(1)(2) 学校生活の中で気になることを4つに分類し、そこから伝えたいことを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題文を大型モニターに投影する。大事な部分には線を引いて示す。 |
| 展開 (30分) | <ul style="list-style-type: none"> ○Xチャートを用いて、10この「学校生活で気になること」を「伝えたいこと」の項目4つに分類する。【写真1】 ○分類したことを基にペアで交流し、わくわく問題にある「伝えたいこと」の4つめを考え、ワークシートに記入する。【写真2】 ○「伝えたいこと」の中から一つ選び、クラゲチャートを用いて「そうしてほしい理由」をペアで考える。 ○考えた理由を基にみんなに伝える言葉を考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・思考（分類）することに重点を置くために、「学校生活で気になること」や「伝えたいこと」をあらかじめ打ち込んだシンキングツールを児童に送る。 ・児童が提出したチャートを投影し、どう分類したかを確認する。 ・提出箱を共有し、他の児童の考えが見られるようにする。 ・教師用端末で例を提示し、考える際のイメージを持たせる。 ・クラゲチャートには、予め考えるための視点を記入しておく。 ・Chromebookでクラゲチャートを確認しながら、紙のワークシートに言葉を考えさせる。 |
| まとめ (10分) | <ul style="list-style-type: none"> ○考えた言葉を発表する。 ○授業の振り返りを行う。【写真3】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで振り返りシートを作成・配付し、振り返りを行う。 |

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：「学校生活で気になること」を「伝えたいこと」の項目ごとに分類する場面



写真2：「伝えたいこと」の一つを選び、「そうしてほしい理由」をペアで考える場面

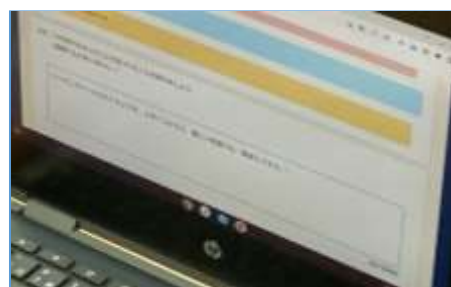


写真3：授業の振り返りを行う場面

児童生徒の反応や変容

- ・わくわく問題の内容を見て、最初は「難しい」と感じていた児童が多かったが、シンキングツールを活用して、考えを整理するなどの活動を行うことで、振り返りでは「シンキングツールを使うことで分かりやすくなった。」と回答している児童が多く、思考力の向上につながっていた。
- ・児童の回答を共有することで、他の児童の考えを参考に、自分の考えを深めたり、ペアでの交流を円滑に行ったりすることができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

一つめの活動では、予め必要な言葉を書きこんだ状態のカードを準備することで、児童のタイピングのスピードの差に影響されることなく、テンポのいい活動になった。また、「考える」ということに重点を置いて活動することができた。

シンキングツールに予め考えを整理するための視点を書き加えたものを用意し、実践したことで、児童に思考の過程を意識しながら考えを深めさせることができた。また、紙のワークシートを使用することで、端末上の自分の考えを確認しながら言葉を考える活動につなげることができた。